

下水道事業会計
下水道事業収入の推移

(単位:千円)

項目		平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 決算	平成26年度 当初予算	平成27年度 当初予算	前年度増減
下水道事業収入							
	下水道使用料	6,622,089	6,374,440	6,269,785	6,410,505	6,211,743	198,762
	雨水処理負担金	4,492,250	4,349,550	4,234,403	4,172,428	4,095,029	77,399

都市整備局

下水道事業会計

尼崎市の下水道	下水道事業着手時期	昭和 28 年
	下水道の人口普及率	99.9%
	下水道整備面積	4,054ha
	市内の管網総延長	1,068 k m
	処理場・ポンプ場	東部浄化センター(西松島町 32) 供用開始：昭和 57 年 北部浄化センター(東園田町 7-82) 供用開始：昭和 57 年 9 ポンプ場 供用開始：昭和 38 年～平成 13 年
取 組 事 業	下水道施設の改築更新	
	浸水対策	
	地震対策	
	高度処理の推進	
	その他流域下水道整備等	

(1)	公共下水道整備事業費	863,984
	管きょ、ポンプ場、処理場の新設及び機能向上に係る事業費 〔浸水対策〕	(667,761)

大雨による浸水被害の軽減を図るため、浸水対策を行う。

- ・ 雨水貯留管整備（武庫川処理区）
- ・ 末端増補管整備（武庫川処理区）
- ・ 雨水浸透管整備（北部処理区）

〔高度処理の推進〕

大阪湾の水質改善を図るため、富栄養化の原因である窒素及びリンを減らす高度処理を進める。

- ・ 東部浄化センター 1 系水処理施設の高度処理化



東部浄化センター
供用開始：昭和 57 年

(2)	流域下水道整備事業費	170,931
	2 以上の市町にまたがる区域を兵庫県が事業主体となって効率的、 経済的に運営を行う流域下水道の整備・改築事業に係る負担金	(201,290)

施行主体	兵庫県
関係都市	尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市
事業費	1,773,091 千円
関係都市間の尼崎市負担割合	
管きょ、ポンプ場	48.5%
処理場	44.7%



武庫川下流浄化センター
供用開始：昭和 51 年

- (3) 施設改修事業費 3,831,439
 管きょ、ポンプ場、処理場の改築・更新に係る事業費 (4,064,868)

〔下水道施設の改築更新〕

経年劣化による機能低下に対応するため、計画的な改築・更新を進め、下水道機能を維持する。

(管きょ)

- ・ 市内一円管更生工事 等

(設備)

- ・ 北部・東部浄化センター、栗山・尾浜・富松・大庄・東部雨水・中在家・高田・西川の8ポンプ場の設備改築



管きょ改築工事
(管更生工事)

〔浸水対策〕

大雨による浸水被害の軽減を図るため、浸水対策を行う。

(管きょ)

- ・ 市内一円人孔蓋取替工事

(設備)

- ・ ポンプ場における雨水ポンプ能力の増強
(大庄・中在家中継ポンプ場)

〔地震対策〕

地震時における下水道の基本的機能を確保するため、地震対策等に取り組む。

- ・ 処理場・ポンプ場における建物の耐震補強
(東部浄化センター、大庄・東部雨水ポンプ場)

〔高度処理の推進〕

- ・ 東部浄化センター1系水処理施設の高度処理化

- (4) 雨水貯留タンク設置助成金交付事業費 1,200
 雨水の流出抑制及び水資源の有効利用に資するため、
 雨水貯留タンクを設置しようとする者に対して助成金を交付する。 (1,200)



雨水貯留タンク